

## 市民との意見交換会・報告書

開催地区： 謹教地区	開催日時： 令和6年11月17日(日) 18時00分 ～ 19時50分
担当班： 第2班(出席議員) 平田久美、高梨浩、原田俊広、長郷潤一郎、清川雅史(議長)	
開催場所： 謹教コミュニティセンター 集会室	
参加人数： 男性 1名、女性 1名、合計 2名	
<p>会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など</p> <p>1. 意見交換の総括</p> <p>(1) 議会報告、市政全般についての総括</p> <p>① 9月定例会議について 決算審査では、学校施設のプール等の修復に関する意見や質問、内水氾濫への対応についての質問が出された。</p> <p>② 市政全般(市のまちづくりに向けた課題)について 県立病院跡地の活用、小規模特認校制度と不登校生徒への対応、背炙山の風力発電についての質問や意見等が出された。</p> <p>(2) 地区別テーマについての総括</p> <p>① 地区別テーマ 「町内会と地域づくりについて」</p> <p>② テーマ設定の理由、背景 地方自治の一つの柱である、住民自治の中心となる町内会の役員の担い手不足、各種団体の減少などが大きな問題となる中で、町内会と地域づくりについての実態と今後の活動の在り方について、意見交換が必要だと感じている。</p> <p>③ 主な地域課題 町内会の重要性や役割について、市民に広く知られていないことが問題。 子どもが少なくなったとはいえ、地域に子どもがいるのにこども会がなくなって、提灯行列などの楽しい催しに参加できなくなっているという実態がある。</p>	

会津若松市議会議長 様

令和6年11月22日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 大竹 俊哉

意見交換会第2班 代表者 長郷 潤一郎

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項  
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況		※項目 キーワード	
		分類	番号		対応
<p>前回の意見交換会では、学校施設でプールや学校の備品が古くて使えなくなったりしていることに関して、そのようなことではだめなのではないのかと質問した際「プールがなくても問題ない」「そのようなことは議会ではなくて同窓会に言ってほしい」というような回答だったが、それでよいのか改めてお聞きしたい。</p>	<p>これから本市の人口は増えずに減ることは間違いないが、かつてバブル期に国の補助金で整備した施設が多くあり、それらをこれからどうしていくかが問題となっている。</p> <p>本市の公共施設は面積で言えば学校施設が4割、スポーツ施設が3割だが、令和3年に市が作成した「公共施設再編プラン」があり、その中で、学校は全て「保全」。つまり、子どもの教育だけではなく地域の拠点なので無くさないで引き続き管理していくことになっており、その時には地域の方々との相談も必要だと考えている。</p> <p>一つひとつの学校をこれからどのように管理していくのかというような個別の計画は、これから地域と相談しながら作成していくことになっていると思う。</p>	○	①		学校施設
<p>今日の意見交換会の参加者が2人だけだが、議会として意見交換会を開催するに当たってどのような活動をされたのか。日曜日の開催は謹教地区にとってどうだったのか。</p>	<p>参加者が少ないのは主催者である議会としての取組が不十分だったと思う。今回は、今まで行っていたチラシの組回覧をしなかったことも影響しているのかもしれないが、この結果を受けてしっかりと対策を考えていこうと思う。</p>	●	①		意見交換会
<p>子どもが減っても学校の建て替えは必要だし、その順番は決まっていると思うが、学校のプールが使えないことで、子どもたちに我慢させるのはひどい話だと思う。民間のスイミングスクールがあるというのは分かるが、難しいと思う。新しい学校を建てる際には、プールも整備するというような計画を立てるべきだと思う。</p>	<p>よく水泳の指導者がいないと言われるが、体育教師はいるので、水泳の指導ができないというのは話が成り立たないと思う。問題は、プールの修復維持に多額の費用が掛かるということ。しかし、お金が掛かるから体育の授業で水泳がなく、子どもが水泳をするために他の施設を使わないとならない現状がよいのかどうか、議会としてもっと考えて、意見がまとまれば市に対して提言することも考えられると思う。</p>	○	①		学校施設

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項  
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況		※項目 キーワード	
		分類	番号		対応
<p>謹教地区では竹田病院の通りは広がって、きれいになるのはいいことだと思うが、大雨が降ると内水氾濫が起きている。市役所の前の通りも内水氾濫や匂いが気になるが、側溝を掃除する体制をつくらないとだめだと思う。</p>	<p>大川や湯川等の外水氾濫については国や県で考えているが、内水氾濫は市の問題なので、議会としても研究テーマの1つとして有権者を招いてセミナー等を実施するなど、考えている。                      現在、市では何百キロもある市内水路の全面改修は無理なので、雨水幹線をつくって内水氾濫を抑えていくということをやっているが、これも数十年単位で時間が必要。そのなかでハザードマップの見直しもあったが、下流域の西部地域を中心にして雨水幹線の整備を行おうとしていると思う。</p>	○	①		防災・安全
<p>県立病院跡地については、現在どうなっているのか。どうにもならないなら、そのままでいいと思う。あそこに芝生を植えて東屋でもあれば子どもの遊び場になるので、その方が費用も掛からずよいと思う。</p>	<p>様々な市民意見があったが、県立病院跡地の現状については、令和5年度に市が「基本計画」を作成し、今年度は市が県から土地を購入して現在は市が土地を管理している。そして、DBO方式、設計から施工、そして15年間の管理運営までを一括する方式で受注企業を募集したが応募がなかったため、現在再募集に向けて様々な調整・検討を市が行っている状況にある。</p>	○	①		街の拠点
<p>これから子どもも減っていく中で、子育て支援施設はどれほど必要なのか。また、収益施設の収益性もどれほど見込めるのかわからない。土地の購入費用の8億円があれば、様々な施策に回すことができるのではないのかと考える。</p>	<p>土地の購入費用の8億円は、全額、市の持ち出しで一般財源で買うのではなく、国や県の有利な借金で買うので、8億円をそのまま他の施策に回すことはできない。                      また、子育て支援施設となっているが、基本計画では異世代間交流施設になっている。子どもと保護者が使うだけでなく、高齢者も含めて交流できる施設にしようという計画になっている。</p>	○	①		街の拠点

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項  
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
大熊町の義務教育学校学び舎ゆめの森という認定こども園と義務教育学校が一緒になった施設に行ってきた。本市ではなかなか学校に行けない子も増えているが、そういう子も行けるような施設になっている。大戸小中学校は、学区がなくどこからでも通学できるようになっているが、逆に謹教や鶴城小学校のような市内の中心部にも、どこからでも来てよいという特認校にはできないのか。	子どもの人数が減っていることが特認校の前提になるため、難しい。	○	①		学校教育
勉強ができなくなって学校に行けなくなった子が、行きやすくなる環境をつくるにはどうしたらいいのか考えてる。会津若松市が学校教育でそういうチャレンジをしていくことを希望する。	貴重なご意見として伺う。	○	②		学校教育
背炙山の風力発電施設の建設計画については、議会は反対の陳情に対して反対というか、陳情は不採択になっているが、結局は建設は進められるのか。	背炙山の風力発電については誤解がある。背炙山の標高との比較で考えると、よく紹介されているイメージは風力発電施設を大きく誇張しすぎているので、正しい情報で考えてほしい。 議員の中では自然環境を守る、生物多様性の保護、住民の安全などを考えて建設計画に反対の議員もいれば、再生可能エネルギーの一つとして、環境アセスメントなどの法令を遵守した計画だと賛成する議員もいる。とにかく、正しい情報で正しい判断していただきたいと考えている。	○	①		環境・開発

○ 地区別テーマでの意見交換について → 町内会と地域づくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	地方自治は住民自治と団体自治で成り立っているが、いまその柱の1つである住民自治が本当に大事になっている。そのなかで、①地域の定義、②地域の拠点、③地域づくりの財源、④地域づくりを担う人材の4点について、みなさんの意見を聞きながら考えていきたいと思う。			
町内会の役員の方ではなく、一般の市民の方々の中では、町内会や自治組織の役割や必要性について、日常的にはあまり考えていないと思う。	貴重なご意見として伺う。	○	②	
うちの地区でも小学生は住んでいるが、こども会はなくなった。会津まつりの提灯行列には、こども会でないと出られないので、隣の町内会のこども会と一緒に出るようになったが、今回は雨で中止になって残念だった。参加の仕方がなんとかならないのか考えている。	おっしゃるとおりで、提灯行列には町内会のこども会に入っていないと出れないが、一番の問題は保険の対応である。 以前から子どもはいるのに、こども会はなくなって、こども会に入っている子どもと入っていない子どものお祭り等への参加など、様々な問題があることは議会としても認識している。今回そのようなご意見があったことを受け止める。	○	②	
町内会の役員のなり手不足があるといわれているが、うちの地区ではやりがいを感じて引き受けていただいている方が多いと感じている。どの町内にもそのような方はいると思う。	貴重なご意見として伺う。	○	②	
町内会と地区社会福祉協議会は違うと思うが、東山地区社会福祉協議会など、うまくいっているところはどのようなことをしているのか。	東山地区社会福祉協議会がうまくいっている要因については、いまお答えはできないが、東山地区社会福祉協議会の事務局は第一包括支援センターにあり、がんばっていると考えている。	○	①	